

平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数
第2学年 世界史A 2単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい
「現代に対する認識を深め、世界の成り立ちを理解する。」

4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	・四大文明の成立とその後の発展 ・キリスト教の誕生 (8～12時間)	各文明の風土・宗教・文化・交易を通して、その後の発展について考える。	・各文明の特色を捉え、その後の発展の流れを理解できる。
	・イスラム世界 ・ヨーロッパ世界 ・一体化する世界 (10～14時間)	十字軍を通して、中世のヨーロッパ世界・イスラム世界について考える。	・両世界の交流及び対立の原因 ・結果について考え、理解できる。
2	・市民革命 ・自由主義とナショナリズム (10～14時間)	市民革命やナポレオン戦争を通して、民主主義・ナショナリズムについて考える力を養う。	・王政から民主主義への流れを整理し理解できる。
	・アジアの動揺と変動 ・第一次世界大戦と民族自決 (10～14時間)	オスマン帝国・清・ムガル帝国を通して、西洋の帝国主義と東洋の民族自決を求める動きについて理解する。	・西洋と東洋の対立及び抵抗について理解できる。
3	・経済危機から第二次世界大戦へ ・冷戦・現代へ続く動き (12～16時間)	世界恐慌と軍国主義を通して、戦後の歴史生成過程と、今日に至る「現代」について考える。	・現在に至る大戦の影響について考え、理解できる。

- 5 使用教科書・副教材他
『明解 世界史A』帝国書院

6 評価方法・観点

- ・年間5回の定期考査の得点。【最重要ポイント】
- ・考査毎の「プリント提出」によって、日常的努力を評価する。
- ・出席状況、授業態度等、日常点を評価に入れる。
- ・課題等の提出物の提出状況等を評価の対象とする。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。